



# 10月の園だより

令和5年10月 富田林市立錦郡幼稚園

『<sup>おも</sup>想いを<sup>つか</sup>掴む』ということ ～<sup>うんどうかい</sup>運動会も、<sup>つき</sup>その次も～

いよいよ<sup>うんどうかい</sup>運動会が<sup>ちか</sup>近づいてきました。過日、<sup>かじつ</sup>そら組の<sup>ぐみ</sup>こどもたちが<sup>つく</sup>作ってくれた『<sup>うんどうかい</sup>うんどうかいの『アレ』まで、あと〇〇にち』という、<sup>か</sup>カウントダウンの<sup>けいじぶつ</sup>掲示物。私は<sup>わたし</sup>毎朝<sup>まいあさ</sup>登園すると<sup>ま</sup>真っ先に、この〇〇の<sup>すうじ</sup>数字を一つ<sup>ひと</sup>減らして<sup>は</sup>張り替えていきます。一日の<sup>いちにち</sup>生活のどこかで<sup>み</sup>見るようにしてくれているこどもたちが、「あと〇〇にちやで!」「<sup>ちか</sup>近づいてきましたなあ」と、<sup>とき</sup>時に<sup>しんけん</sup>真剣に、<sup>とき</sup>時に<sup>まんざい</sup>漫才の<sup>か</sup>掛け合いのように<sup>あ</sup>ユーモラスに<sup>かた</sup>語っている<sup>すがた</sup>姿に、こどもたち<sup>どうよう</sup>同様、<sup>わたし</sup>私たち<sup>しよくいん</sup>職員も<sup>きよう</sup>ワクワクしている今日この<sup>ごろ</sup>頃です。

<sup>れんしゅう</sup>練習の様子は、こどもたちから<sup>ちよくせつ</sup>直接、また<sup>たんになん</sup>担任からも<sup>き</sup>聞いていただいていること<sup>おも</sup>と思いますが、おそらく、いやきっと<sup>うんどうかいとうじつ</sup>運動会当日、<sup>ほごしや</sup>保護者や<sup>ちいき</sup>地域の方々の<sup>かたがた</sup>期待は<sup>き</sup>大きく<sup>おお</sup>裏切られる?!<sup>うらぎ</sup>ことになります。そうです、みなさんの<sup>そうぞう</sup>想像をはるかに<sup>こ</sup>超えたこどもたちの<sup>うご</sup>動きで<sup>う</sup>埋め<sup>つ</sup>尽くされるのです。その<sup>とき</sup>時に<sup>わす</sup>忘れないで<sup>えん</sup>いただきたいのは、<sup>からだ</sup>体の<sup>うご</sup>動きだけでなく、<sup>こころ</sup>心の<sup>うご</sup>動き(どんな<sup>き</sup>気持ちで<sup>えん</sup>演じているか、<sup>こころ</sup>どのように<sup>うご</sup>心を動かしているか)を<sup>み</sup>しっかりと<sup>つか</sup>見<sup>と</sup>つめ、<sup>つか</sup>掴み<sup>と</sup>取っていただくということ<sup>ひと</sup>です。そしてもう一つ、『アレ』のために、<sup>わす</sup>ハンカチをお<sup>わす</sup>忘れなく!

<sup>うんどうかい</sup>運動会が<sup>お</sup>終わったら、<sup>からだ</sup>体の<sup>すこ</sup>ほうは<sup>きゆうけい</sup>少し<sup>いっぼう</sup>休憩。一方で、<sup>え</sup>これまでに<sup>え</sup>得た<sup>え</sup>ことを<sup>こんご</sup>今後に<sup>い</sup>生かせるよう、<sup>こころ</sup>心の<sup>うご</sup>ほうは、<sup>うご</sup>これからも<sup>うご</sup>フルスロットルで<sup>うご</sup>動かせるよう、<sup>ひき</sup>引き<sup>つづ</sup>つづき<sup>と</sup>取り<sup>く</sup>組み<sup>すす</sup>を進めて<sup>げんざい</sup>まいります。現在、<sup>すいめんか</sup>水面下では、<sup>つき</sup>次に<sup>むか</sup>向か<sup>むか</sup>っての<sup>じゅんび</sup>準備も<sup>ちゃくちやく</sup>着々と<sup>おこな</sup>行っております。もの<sup>おも</sup>想<sup>あき</sup>う秋の『にしこおり』にも<sup>き</sup>ご期待<sup>き</sup>ください。

えんちよう 園長 しのの 塩野 よしかず 義和

## \*育てたいこと\*

- 3歳児 ・先生や友達と一緒に存分に体を動かして遊ぶことを楽しむ。  
・秋の自然に触れ親しむ。
- 4歳児 ・いろいろな遊びを楽しむ中で友達との関わりを深める。  
・身近な秋の自然に触れながら、季節の移り変わりに興味関心をもつ。
- 5歳児 ・共通の目的に向かって友達と協力をし合いながら活動を進める楽しさを味わう。  
・秋の自然物に触れたり収穫の喜びを味わったりして秋の自然に興味関心をもつ。